

平成26年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）
追跡評価結果

研究課題名	乱流プラズマの構造形成と選択則の総合的研究
研究代表者名 (所属・職)	伊藤 早苗 (九州大学・応用力学研究所・教授)

【評価意見】

本研究は、プラズマ乱流と構造形成の機構解明を基軸とし、理論・実験の両面より異常輸送や帯状流に関する物理を開拓するものであり、プラズマ乱流の学理だけでなく、核融合炉におけるプラズマ制御への重要な知見を与えるなど、当該分野への貢献は大きい。本研究課題終了後は、基盤研究(S)「乱流プラズマの動的応答と動的輸送の統合研究(平成21年度～平成25年度)」に引き継がれ、乱流媒質に特有な動的乱流輸送に関する知見を得るなど、順調な発展をみせている。また、本研究の内容が、プラズマ乱流を主体とする研究ネットワークの提案へ繋がっていること及び若手研究者を対象とした賞の設立などを通して、プラズマ物理の若手研究者に刺激を与えていることも評価できる。以上のことから、総合的に期待どおりの効果・効用があったと評価できる。